

第2学年＊組 国語科学習指導案

指導者 宇田川 勝貴
R7研修センター長期研修

- 1 単元名 「走れメロス」の魅力を紹介しよう
ー比較しながら読むことで作品の特徴を捉えるー

2 単元の目標

- (1) 抽象的な概念を表す語句の量を増やすとともに、類義語と対義語、多義的な意味を表す語などについて理解し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。〔知識及び技能〕(1)エ
(2) 登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈することができる。〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)イ
(3) 観点を明確にして文章を比較するなどし、表現の効果について考えることができる。〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)エ
(4) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。〔学びに向かう力、人間性等〕

3 本単元における言語活動

原典と比較しながら読み、表現の効果について考えたことを、パワーポイントで紹介し合う。
(関連：〔思考力、判断力、表現力等〕C(2)イ)

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 抽象的な概念を表す語句の量を増やすとともに、類義語と対義語、多義的な意味を表す語句などについて理解し、語感を磨き、語彙を豊かにしている。(1)エ)	① 「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈している。(C(1)イ) ② 「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、表現の効果について考えている。(C(1)エ)	① 複数の文章を比較しながら読み、学習の見通しをもって、粘り強く表現の効果について考えたり、抽象的な概念を表す語句の量を増したりしながら、作品の魅力を紹介しようとしている。

5 単元について

(1) 教材観

本教材は、主人公であるメロスが挫折や葛藤を乗り越え、信義をかけて走り続ける姿を描いた物語である。主要な登場人物であるメロスと王は対照的な人物として描かれており、人物像は、それぞれ場面ごとに大きく変化して描かれている。そのため、人物像を多面的に捉え、心情や考えを洞察しながら、作品を深く味わう力を養うことに適した教材だと考える。また、本教材は、太宰治がシラーの詩「人質」に基づいて創作したとされている。作者が用いた比喻表現や漢語調の文体、付け加えた場面からは、登場人物の心情の変化や言動の意味を感じ取ることができる。そのため、原典と比較しながら読む学習を通して、表現の特徴を捉え、その効果について考える学習に適した教材であると考えた。

(2) 生徒観（生徒の実態から記述する。）

本学級で「表現の効果について考えること」に関する実態調査を実施した。(令和7年＊月＊日実施、第2学年＊組＊人) 調査を実施した。その結果、比喻を用いた表現の効果について具体的に記述できなかった生徒が＊人、比喻を用いた表現をそのまま記述した生徒が＊人、無答が＊人であった。この結果から、比喻を用いた表現が、文章の内容を伝えたり印象付けたりする効果について考えることに課題がある生徒が多いことが分かった。これまでは、文学的な文章の指導において、登場人物の心情や情景を読み取る活動に重点を置いて指導してきた。しかし、これまでの学習活動において、表現が文章の内容を伝えたり印象付けたりする上で、どのように働いているかを考えるための手立てについては不足していたことが、この実態の原因で

あると考える。このことから、表現の特徴やその効果を考えるための学習活動を工夫して実践する必要があると考えた。

(3) 指導観

本研究では、中学校第2学年「走れメロス」において、観点を明確にして複数の文章を比較しながら読む学習活動を行う。まず、原典と比較する活動を通して、表現の特徴に気付くことができるようにする。次に、比較するための観点を基に、書き換えた文と比較する活動を通して、表現が内容を伝えたり印象付けたりする上でどのように働いているかを考えることができるようにする。さらに、読みを生かして考えをまとめる活動を通して、表現が文章全体にどのように関わっているかを考えることができるようにする。本単元においては、表現が文章全体の特徴にどのように関わっているのかについて考えるために、読み取った表現の特徴を基に、作品の魅力を紹介し合う活動を行う。紹介する際には、プレゼンテーションソフト（Microsoft PowerPoint）を活用して意見をまとめ、表現が文章全体にどのように働いているかを考えることができるようにする。このように学習活動を工夫することによって、表現の効果について考える力を育成することができると考えた。

6 単元の指導計画（10 時間扱い）

○は指導に生かす評価場面、◎は記録に残す評価場面

次	時	学習内容・活動	知	思	態	評価及び評価方法等
1	1 2	・単元全体の見通しをもつ。 〔単元の目標〕 - 長い間読み継がれている「走れメロス」の魅力を紹介し合おう。 ・「走れメロス」の本文を通読する。 課題 「走れメロス」と「人質」の相違点は何だろう。 ・「人質」を通読する。 ・「走れメロス」と「人質」の相違点を付箋に書く。 ・グループごとに集約した相違点や疑問を分類し、情報を整理する。 まとめ 「走れメロス」には、登場人物の言動や描写などの細やかな描写はあるが、「人質」には細やかに描かれていないという表現上の相違点がある。				・「走れメロス」には読まれ続けている魅力があること伝え、生徒が作品の魅力を考えることができるようにする。 ○ 態①：「走れメロス」と「人質」の違いを見付けて付箋に記述しようとしているか見取る。つまりいている生徒には、「走れメロス」には描かれている場面で、「人質」にはないものを探すよう助言することで、二つの作品の表現の違いに気付けるようにする。 【観察、付箋】

2	3 4	課題 「走れメロス」で人物像が詳細に描かれることで、読み手はどのように物語を読み取ることができるだろう。 ・メロス、王、セリヌンティウス的人物像について整理する。 ・「人質」に書かれている人物像を確認する。 ・「走れメロス」と「人質」の人物像の描かれ方の違いについて確認する。 まとめ 詳細な描写によって、登場人物の言動の意味や心情を具体的に捉えながら読み取ることができる。	○	○	・「人質」が「走れメロス」の原典とされていることを伝える。 思①：登場人物の言動や描写などに着目し、人物像を捉えてワークシートに整理しているか見取る。つまりいている生徒には、会話文に着目して人物の発言の内容や言葉遣いなどから、人物像を捉えるよう助言する。 【観察、ワークシート】 思②：「走れメロス」で細かく描かれている登場人物の言動や情景描写は、読み手にどのような内容を伝えたり印象付けたりしているかを考えているか見取る。考えることが難しい生徒には、人物像や情景が具体的に描かれていない場合の印象の違いを考えるよう助言する。 【観察、ワークシート】
5	1	本時の見通しをもつ。 課題 漢語調の文体や比喻を用いた表現は、読み手に物語の内容をどのように印象付けるだろう。 2 例として、「走れメロス」にある「邪知暴虐の王」を示し、漢語調の文体が読み手にどのような印象を与えるか考える。 ・「走れメロス」にある漢語調の文体を探し、和語に書き換えることで、漢語が読み手に与える印象について確認する。 ・漢語の意味を調べ、文意が変わらないように和語を用いた表現に書き換える。 ・書き換えた文を元の文と比較し、読み手に与える印象がどのように変わるか考える。 3 「走れメロス」にある「百匹の大蛇のように」を示し、比喻を用いた表現が読み手にどのような印象を与えるか考える。 ・比喻を用いずに文を書き換え、元の文と比較することで、比喻を用いた表現が読み手に与える印象について考える。 ・表現が何をたとえているのか、前後の文脈を参考にして捉える。	○	◎	・文章を書き換えて比較することで、表現の特徴が見付けやすくなることを伝える。 知①：「和語」「漢語」「比喻」についての正確な知識を基に、対象となる表現を抽出し、別の表現に書き換えているかを見取る。つまりいている生徒には、「和語」「漢語」「比喻」の正確な知識や、書き換えの対象となる表現を具体的に提示し、辞書を用いて意味を調べたり、前後の文脈から適切な意味を捉えたりするようにする。 【観察、ワークシート】 思②：「和語」「漢語」「比喻」などの観点から文を書き換えて比較し、元の文から強調して伝わる内容を捉え、表現の効果について考えている。 【観察、ワークシート】 ・和語への書き換えが分からない生徒には、語句を訓読みにしたり平仮名に直したりするよう伝えることで、和語に書き換えられるようにする。 ・漢語調の文体や比喻を用いた表現で描かれた表現を見付けられない生徒には、授業者と線を引ながら文章を読むことで、漢語表現や比喻表現を見付けられるようにする。

		- 書き換えた文を元の文と比較し、読み手に与える印象がどのように変わるか考える。 4 書き換えた文をペアで読み合うことで、表現が与える印象の違いについて考えを広げる。 まとめ 漢語調の文体や比喻を用いた表現は、読み手に登場人物の言動や情景を強く印象付けている。 5 本時の学習を振り返り、次時の見通しをもつ。 - 振り返りシートに記述した内容をペアと対話で共有する。			- 漢語調の文体と比喻を用いた表現によって、どんなことが強調されるか考えるよう助言することで、表現の特徴が読み手に与える印象を考えやすくする。 - 書き換えた文を読み合うことで、自分を取り上げなかった表現の特徴やその表現が強調するものを確認し、自分の考えを広げるよう助言する。 - 各自が振り返りで得た気づきを、ペアで共有するよう助言する。
	6	- 学習目標を確認し、本時の見通しをもつ。 課題 メロスが疲労で動けなくなった場面や再び走り出す場面での描写は、読み手にどのような内容を印象付けるだろう。 - メロスが困難に立ち向かっている場面の心情を確認する。 - メロスが疲労する場面で、第三者の視点で書かれている文から、メロス視点で書かれている文に切り替わることを確認する。 - 語り手の視点が切り替わることによって、読み手にどのような印象を与えるか考える。 - 疲労の場面があることで読み手にどのような印象を与えるか考える。 まとめ メロスが疲労で動けなくなった場面や再び走り出す場面での描写からは、人間の弱さや友達のために弱さに打ち勝とうとする強さを印象付けている。	○ ◎		- 刑場に戻ろうとするメロスの心情の変化を確認する。 - 途中に書かれた困難に立ち向かう場面からは、どのような印象を受けるか考える。 思①：言動に注目して、メロスの心情を読み取っているか見取り、つまりいている生徒には、注目すべき言動を具体的に示し、メロスの心情を捉えられるようにする。 【観察、ワークシート】 思②：「走れメロス」に書き加えられた場面は、読者にどのような内容を伝えたり印象付けたりしているかを考えているか見取る。つまりいている生徒には、メロスが諦めようとする場面から、メロスのどのような姿や思いが伝わるか考えるよう助言することで、弱さに立ち向かおうとするメロスの姿が捉えられるようにする。 【観察、ワークシート】
	7 本時	目標：最後の場面は、メロスをどのような人物として読み手に印象付けているか考える。 1 最後の場面は、「人質」には書かれていないことを確認する。 2 学習目標を確認する。 課題 「走れメロス」の最後の場面は、読み手にどのような内容を伝えたり印象付けたりしているだろう。			- 第2時で作成した「『人質』との違い」で、最後の場面は「人質」には書かれていないことを確認する。 「メロスは激怒した」で物語が始まり、「勇者はひどく赤面した」で終わる文が対比していることに気付くよう発問することで、恥ずかしさを

		3 最後の場面は、読み手にどのような印象を与えているか、登場人物の言動から考える。 ・セリヌンティウスとメロスが殴り合う場面、少女が緋のマントをささげる場面、勇者がひどく赤面した場面が、読み手にどんな印象を与えるかについて考える。 4 最後の場面が、メロスをどんな人物として印象付けているか考える。 ・ワークシートに記入後、グループでそれぞれが考えた印象を共有する。 5 最後の場面があることによって、どのような効果があるか考える。 まとめ 最後の場面は、読み手に主題である人間の真実を印象付けている。 6 本時の学習を振り返り、次時の見通しをもつ。 ・振り返りシートに記述した内容をペアと対話で共有する。	○	感じる面も含めて真の勇者であると気付けるようにする。 ・「赤面」から勇者が恥ずかしい感情を抱いていることを捉え、人間味がある人物像として描かれていることに気付けるようにする。 ・「緋のマント」の効果が考えられるよう、「赤色」や「マント」等が何を象徴しているか読み取るために、「斜陽は赤い光」や、「真紅の心臓」が描かれている刑場に戻ることを諦めかけている場面を読むよう助言する。 思①：メロスとセリヌンティウスが殴り合う場面で、メロスの人物像がどのように印象付けられているか考えているかを見取る。つまりいている生徒には、メロスとセリヌンティウスが殴り合う理由を考えるよう助言する。 【観察、ワークシート】 思②：最後の場面が読み手にどのような印象を与えているか、その効果について考えている。 【観察、ワークシート】 ・最後の場面を読んで感じた印象は表現の効果によるもので、感想に関連する登場人物の言動や描写が読み手に印象を与えていると助言することで、表現の効果について考えられるよう支援する。 ・各自が振り返りで得た気づきを、ペアで共有するよう助言する。
3	8 9	課題 どんな表現の特徴が、作品の魅力として考えられるだろう。 ・「走れメロス」の主な表現の特徴として、授業で挙げた漢語調の文体、比喻を用いた表現、語り手の視点の切り替わり、色の効果などから一つ選び、作品の魅力として紹介する。 ・自分が考えた「走れメロス」の魅力を友達に紹介するための資料をパワーポイントで作成する。	◎	知①：「和語」「漢語」「比喻」についての正確な知識をもとに、対象となる表現を見付け、表現の効果について考えている。 思①：「走れメロス」が長く読み継がれている理由や、その魅力について作品の主題や表現の特徴をもとに、自分の考えをパワーポイントにまとめている。 【観察、パワーポイント】 ・表現の特徴を選択できない生徒にはこれまでのワークシートを確認して選択するよう助言する。 ・グッドモデルを示すことで、表現の特徴から「走れメロス」の魅力を紹介できるようにする。 ・表現の特徴以外の魅力を考察してもよいことを伝える。

		まとめ 比喻を用いた表現からは、登場人物の言動や描写を具体的に想像することができるので、読み手は作品の世界に没入することができる。よって比喻を用いた表現は「走れメロス」の魅力として考えることができる。			
10	課題 「走れメロス」が今でも読み継がれているのはなぜだろう。 ・作成したパワーポイントを使い、ワールド・カフェ方式で作品の魅力を紹介し合う。 ・興味をもった表現の効果を説明した発表を聞き、分かったことや説明を聞いて感じたことを、付箋に書く。 ・単元のまとめを記入する。 まとめ 「走れメロス」が長く読み継がれているのは、魅力的な作品だからである。その魅力の一つは表現の特徴で、比喻を用いた表現や漢語調の文体など、特徴的な表現によって読み手は作品の世界に没入し、作品の主題を読み取ることができる。 ・単元全体の学習を振り返る。		◎	態①：表現の特徴が読み手に与える印象や最後の場面から読み取れる作品の主題について考えたり「走れメロス」の魅力を紹介したりしようとしている。 【発表、ワークシート】 ・取り上げた表現がどのような様子を表すか、読み手にどのような印象を与えるかという観点で、パワーポイントの発表を聞く。 ・自分を取り上げていない表現の特徴の発表を聞くことで、自分の考えを広げるよう助言する。 ・単元の学習を振り返り、できるようになったことや次の学習で身につけたいこと等を、振り返りシートに記述するよう促す。	